

中古文学会 2023年度秋季大会開催記念  
龍谷大学大宮図書館 2023年度特別展観

# 〈紫式部〉 の物語

RYUKOKU UNIVERSITY  
OMIYA LIBRARY  
2023 SPECIAL EXHIBITION  
"THE STORY OF (MURASAKISHIKIBU)"



入場無料

2023. 10.12(木) - 10.19(木)

開場時間 10:00 - 17:00 (最終入場 16:30)

龍谷大学大宮キャンパス本館1階展観室

駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください

同時開催

龍谷大学大宮図書館 2023年度特別Web展観

「〈紫式部〉の物語」

[https://mylibrary.ryukoku.ac.jp/iwjs0005opc/htdocs/2023\\_murasakishikibu\\_prod/index.html](https://mylibrary.ryukoku.ac.jp/iwjs0005opc/htdocs/2023_murasakishikibu_prod/index.html)



本展示の資料をWeb上でご覧いただけます  
展示箇所以外も閲覧・拡大表示が可能です

# 大宮図書館が所蔵する歴史的資料を「ご覧ください」

今回の特別展観「〈紫式部〉の物語」では、龍谷大学大宮図書館所蔵の貴重資料を通して、『源氏物語』作者という物語を生きた〈紫式部〉を多面的に紹介します。具体的には、①〈紫式部〉を生み出した物語、②〈紫式部〉が生み出した物語、③〈紫式部〉が生み出した物語を支える物語（としての仏教）、④〈紫式部〉をめぐる物語としての伝説、⑤視覚化された〈紫式部〉の物語、という5つの視座を据えて、みなさんを目眩く物語の世界へと誘います。ようこそ、〈紫式部〉の物語へ。

## 第1章 〈紫式部〉とその時代

紫式部の日記や歌、紫式部と同じ時代を生きた人びとに着目しながら、私たちがイメージする〈紫式部〉がどのような文脈＝物語の中から紡ぎ出されてきたのか、その一端を辿ります。



「枕草子」

## 第2章 『源氏物語』の世界

紫式部によって紡ぎ出された『源氏物語』によって、物語作者〈紫式部〉が誕生しました。その『源氏物語』の世界を写本や板本からかいま見つつ、物語の解明に挑んだ院政期以来の「源氏学」の世界にも分け入ります。



「源氏物語」

## 第3章 『源氏物語』と仏教

虚構である『源氏物語』は、現実社会の諸要素を貪欲に織り込み、綾なすことで独自の世界を構築しています。そのように織りなされる物語世界に欠かせない“糸”が仏教です。今回は、とくに聖徳太子と源信および浄土思想に着目します。



「嵯峨光仏縁起」

## 第4章 伝説の中の〈紫式部〉

院政期、『源氏物語』が権威を高め、影響を強めていくにつれ、物語そのものだけでなく物語作者への関心も急上昇します。その結果、〈紫式部〉をめぐる新たな物語＝伝説が登場します。伝説はいまも生きています。



「源氏供養表白」

## 第5章 描かれた〈紫式部〉と『源氏物語』

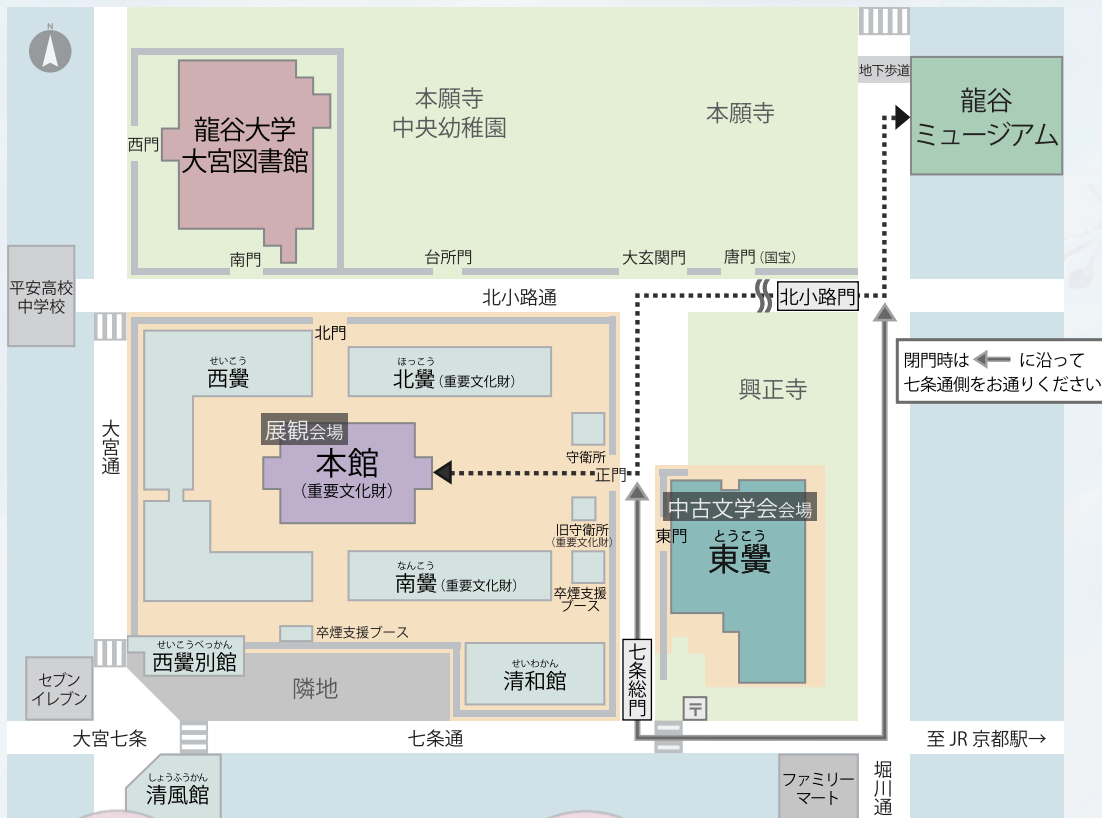
徳川・五島本「源氏物語絵巻」(国宝)を先蹤(せんしょう)とする『源氏物語』の絵画化により、物語世界を視覚的に鑑賞できるようになりました。一方、〈紫式部〉も日記や伝説に基づく肖像画が描かれるようになります。視覚化された〈紫式部〉の物語の最新版が、2024年の大河ドラマです。



「源氏画」

徒歩にて約5分

### 大宮キャンパス 龍谷ミュージアム 案内図



主催 | 龍谷大学大宮図書館  
〒600-8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町125番地の1  
TEL 075-343-3462